

同志社

東京
ジ
ャー
ナル
NO.95

同志社
東京校友会

DOSHISHA
TOKYO JOURNAL
2014.APR NO.95

【今号の記事】

- ・2013年度定時総会・評議員会レポート
- ・2014年度活動計画
- ・同志社校友会東京オフィス開設
- ・新島襄終焉の地碑前祭/生誕の地碑前祭
- ・春の集い告知
- ・片桐家同志社五代記(九)
- ・連載コラム「今出川四季」
- ・校友訪問(島田久仁彦氏)
- ・校友会大懇親会レポート
- ・同志社スポーツ
- ・すみれ亭
- ・マーケティング研究会



同志社大学提供

写真:今出川キャンパスのハリス理化学館(重要文化財) 同志社大学提供

2013年度定時総会・評議員会レポート

2月26日、大学東京オフィスで開催され、案件を審議し全て承認されました。

2013年活動報告

(一)名簿の拡充

評議員改選期に当たり、新規評議員推薦と同時に諸団体、年次会より名簿提出の協力を得た。

また、「春の集い」動員協力を諸団体、年次会に依頼し新規名簿提供を受け、2014年9,603名(うち平成卒2,492名)、つまり2013年8,398名(うち平成卒2,290名)+665名(平成卒202名)の名簿の拡充に取り組む事が出来た。

(二)群れる機会(イベント催行・年次会新設・大学行事)を積極的に進め、校友間の交流を深める。



見玉正之東京校友会会長

④特別協力会員対象
大学との交流プログラム「東京クロストーク」は9月3日(水)、村田学長を講師に招き、同志社大学東京オフィスにて実施され、23名の参加。新学長と意見交換も行った。

⑤ビジネス現役世代の新規会員増強のための交流会として「マーケティング研究会」が8月2日(金)、と12月11日(水)に実施され、おのおの18名と24名の参加があった。参加呼びかけにホームページとFACEBOOKから発信、その結果、校友会名簿にない若い校友の応募があり、新たな校友掘り起しにつながった。

(三)財政基盤である会員数増強
(一)通信協力費会員
【会員数】
(2013年末目標:1,300名(会費納入者ベース)
2012年末1,115名
↓2013年末1,198名
前年比+83名
(新規加入者133名 準会員移行者その他脱退者70名)
【会費徴収】
2012年3,102千円
↓2013年3,653千円
(+551千円)
(二)特別協力会員
(2013年末目標:150名)
2012年末:144名
↓2013年末152名(+8名)

(四)実務遂行体制・その基盤の整備拡充(事務所移転・プロジェクト新設)
(一)常任幹事、実務担当者の補充
①常任幹事の補充について
は今年度より7名の新任が増強され、14名体制となり充実が図れた。
②実務担当者の補充(会員

年通り、学校関係者にも呼びかけ、多数の校友の参加のもと実施された。また、地域の千代田区教育委員会、神田錦町三丁目町会、お茶の水小学校にも呼びかけ、今年度はその中で、神田錦町三丁目町会長・前田様にご参加頂き、地域ぐるみのイベントに拡げる道筋が出来た。

(内訳 継続122名 辞退・未納22名 新規30名)
【会費徴収】
2012年2,860千円
↓2013年3,088千円
(+228千円)
①新規会員の増強については「春の集い」時に103名。
②年次会・諸団体の代表者、評議員への紹介協力要請を実施した。
③特別協力会員の増強については例年通り日経テレコンの活用による新規候補の選別と、更に昨年効果が得られた特別協力会員からの「口コミ紹介」により新規会員30名(日経8名、紹介22名)を獲得できた。特に37会の協力が大きかった。(紹介実績10名)

2013年度会計報告書

<収入の部>

単位：円

科目	12年度実績	13年度予算	13年度実績	備考
前期繰越金	14,886,452	17,367,256	17,367,256	
(事業収入)	7,480,000	7,505,000	8,652,000	
春の集い会費	3,840,000	3,800,000	4,653,000	参加数予算475名→実績548名
春の集い広告収入	2,775,000	2,800,000	3,145,000	
特別協力会員の集い	715,000	800,000	695,000	参加数予算80名→実績68名
碑前祭会費	120,000	105,000	159,000	参加数予算35名→実績53名
キャンパスフェスタ (広報収入)	30,000	0	0	
1,270,000	1,700,000	1,810,000		
東京ジャーナル広告収入	1,200,000	1,600,000	1,700,000	@10万円*4社*4回/年
ホームページ広告収入 (基礎収入)	70,000	100,000	110,000	@10000/社
5,973,543	6,355,000	7,043,722		
通信協力費会員会費	3,102,000	3,450,000	3,653,000	予算1150名→実績1252名
特別協力会員会費	2,860,000	2,600,000	3,088,000	予算130名→実績152名
校友会支部助成金		300,000	300,000	
その他収入	11,543	5,000	2,722	預金利息他
小計	14,723,543	15,560,000	17,505,722	
合計	29,609,995	32,927,256	34,872,978	

<支出の部>

科目	12年度実績	13年度予算	13年度実績	備考
(事業費用)	7,333,600	7,545,000	8,505,351	
春の集い諸費用	6,571,729	6,600,000	7,704,593	「集い」収支 +93,407円
特別協力会員の集い諸費用	624,821	800,000	600,133	「集い」収支 +94,867円
碑前祭	137,050	145,000	200,625	収支 -41,625円
キャンパスフェスタ (広報費用)	0	0	0	
1,050,402	1,960,000	1,434,943		
東京ジャーナル発行配布費	1,013,002	1,600,000	1,249,005	4回発行
ホームページ維持管理費	37,400	360,000	185,938	
(政策経費)	1,117,567	1,300,000	637,996	
特別協力会員維持開拓費	784,163	300,000	31,305	募集文書送送料
年次会等諸団体会員開拓費	273,404	300,000	241,001	55年次会他
同志社大学現役諸団体交流費	60,000	300,000	230,000	スポーツユニオン関係、ESS、グリークラブ
現役世代会員開拓費	0	400,000	135,690	マーケティング研究会、新人歓迎会
(事務経費)	2,741,170	3,540,000	3,017,778	
通信費	190,936	300,000	217,230	会費請求書等郵送料他
事務用品費・備品費	150,693	300,000	125,954	用紙、インク代等
会議費	298,440	500,000	471,357	総会、幹事会、常任幹事会他
交際費	230,000	240,000	220,000	年次会、他支部総会ご祝儀等
労務費	590,830	800,000	577,290	業務委託費(名簿管理、会計事務所 会費請求督促業務)
交通費	211,760	250,000	250,680	
家賃付帯経費	828,693	850,000	872,364	デスクット費用、倉庫料等
雑費	239,818	300,000	282,903	振込み料他
(予備費)	0	200,000	0	
小計	12,242,739	14,545,000	13,596,068	
差引収支	2,480,804	1,015,000	3,909,654	
次期繰越金	17,367,256	18,382,256	21,276,910	
合計	29,609,995	32,927,256	34,872,978	
(事務所移転開設準備金へ)	2,000,000	1,000,000	1,000,000	
大震災募金関係(上記に含まず)				
東日本大震災被災学生支援募金	1,002,495		931,055	同志社大学に(12月26日)

財産目録(2013年12月31日現在)

単位：円

資産	(2011/12/31)	(2012/12/31)	(2013/12/31)	(対'12年増減)
現金	63,433	42,321	33,803	-8,518
普通預金：みずほ銀行(渋谷中央)	841,362	775,770	1,394,929	619,159
普通預金：みずほ銀行(銀座)	1,994,111	3,301,637	2,466,760	-834,877
定期預金：みずほ銀行(渋谷中央)	10,000,000	10,000,000	10,000,000	0
郵便貯金	17,086	17,094	3,000,128	2,983,034
郵便振替残高	1,970,460	3,230,434	4,381,290	1,150,856
資産合計	14,886,452	17,367,256	21,276,910	3,909,654
負債	なし			

(通信協力費会員、特別協力会員)の拡充に伴う必要な実務担当者の補充は2014年度に持越した。

(二)広報体制
①94号(2014年1月発行)より編集体制を再編し、より機能的な体制にして取り組む事が出来た。

②ホームページについては

費用抑制に努力したが、更新体制については次年度に持ち越した。

(三)同志社大学現役諸団体への支援
スポーツユニオン総会時に18団体に贈呈した他、合計21団体230千円(対前年+170千円)支援を実施した。

(四)事務所移転プロジェクト

新設
事務所問題に取り組んだ結果、大学の東京オフィスが2014年3月の移転にとまない、校友会東京オフィスが開設される事となった。

【場所】京橋イーストビル3F
【住所】中央区京橋2-7-19

(五)母校の東日本大震災被災

学生への支援(義援金)の継続
今年度も継続実施し、八重さんクッキーの販売と募金箱を用意し、年次会、諸団体に協力を求め、昨年末に学校当局に合計931,055円の義援金を贈呈する事が出来た。

北濃登美男(昭41・法)

世界中でつくります。なかつた空気。できなかつた空気。

国が違えば、暮らしが違えば、欲しい空気も違はず。ダイキンは最新の空調技術で、その全てに答えたい。

DAIKIN 工業株式会社

2014年度の活動計画

事務所開設を契機に、原点に戻り、会員相互の親睦をはかり、交誼を厚くするとともに、学校法人同志社との関係を緊密にし、かつ同志社諸学校の発展を支援することを活動方針とする。

目標・方針(重点施策)

一、群れる機会(イベント催行・年次会・大学行事)に積極的に取り組み、新規会員の増強と名簿の拡充を図り、校友間の交流を深める。

二、学校(行事等)への積極的協力と支援活動に取り組む

三、右記活動を支える財政基盤である会員数の増強

四、右記活動を支える実務遂行体制の拡充



北濃登美男代表幹事

③東京クロストーク
特別協力会員対象の大学との交流プログラム。今年度三回程度の実施予定。

④マーケティング研究会
年間4、5回開催を企画し首都圏ビジネスパーソンのコミュニケーションとする。

現役世代(仕事従事者)が幅広く集えるよう、准会員にも案内する。

⑤生誕の地碑前祭
2015年2月12日(木)
例年通り実施予定。地域の諸団体にも呼びかけ、地域ぐるみのイベントに広げていきたい。

⑥新卒者歓迎イベント
2014年4月より関東に就職される新卒校友向けのイベントを計画検討する。

⑦本部同志社大懇親会
今後とも積極的に協力賛同する。

⑧年次会の拡充
49年、52年、平成2年次について結成への機運を盛り上げる側面支援を行う。また新規結成を行う年次が出現すれば、従来通りの施策(名簿の提供等)支援を行う。

⑨名簿の拡充
諸団体、年次会の協力を得て、

名簿の拡充に取り組む。特に異動の多い平成年代層の充実のためには、上下関係の強い諸団体からの情報提供協力を要請し、その充実を図る。

二、学校(行事等)への積極的協力と支援活動に取り組む

①同志社大学主催行事には積極的に協力する

同志社講座 in 東京等大学主催行事には東京ジャーナル、ホームページ、フェイスブック等、東京校友会広報を活用して協力する。

②地域との交流
新オフィスの地元中央区で地域交流につながるイベントの計画を検討する。

③母校の東日本大震災被災学
生への支援の継続
母校の「東日本大震災被災学
生支援募金」を、今年度を最終年として継続実施する。(震災当時の一年生が卒業するまで)

校友会、年次会の諸行事等で募金、八重さんクッキー販売の協力を求める。
八重さんクッキーの販売。

昨年同様同志社生協が本件主旨に賛同、キャンパス内生協店舗で常時販売(昨年は1、

2000個、一個に付1000円の寄付協力)が継続される。

④同志社大学現役諸団体への支援
スポーツ、文化サークルの関東地区での全国大会出場等の行事に、要請があれば積極的に支援、協力する。「同志社東京ジャーナル」、ホームページによる広報協力も実施する。

三、財政基盤である会員数増強
(目標(会費納入者ベース)通信協力費会員
1,300名(昨年1,198名)
特別協力会員
160名(昨年152名)
合計1,460名(昨年1,350名)
長期目標:通信協力費会員
2,000名、特別協力会員
200名

(施策)
①新規会員の増強は「春の集い」を活用し強力推進する。
(目標150名)

②年次会・諸団体の代表者、評議員への紹介協力要請を行う。

③ホームページ及びフェイス

②特別協力会員の集い
日時:11月中旬頃
場所:学士会館
特別協力会員の交流、懇親の場として、多くの会員に働きかけ実施したい。

⑨名簿の拡充
諸団体、年次会の協力を得て、

ブックの活用により情報発信力を強め会員増強を図る。

④特別協力会員の増強は例年通り日経テレコンによる新規候補の選別に加え、特別協力会員からの「口コミ紹介」等通年の勧誘活動を展開する。

四、実務遂行体制の拡充

1、広報体制の強化

①機関誌「同志社東京ジャーナル」の更なる充実と編集体制強化を図る。

②ホームページについては更新体制を含め内容充実を図る。

2、新事務局体制の確立と事務の効率化

①新事務所の効率運営。
混乱を避けるため、当面はデスクアウトの利用を継続し段階的に移行する。

それに伴い、主要業務(名簿管理、会費徴収等)の一元化を目指し、段階的に業務見直しを実施する。また、事務マニュアル等も作成し、今後の業務引継の整備を図る。

②事務局体制の確立。

事務所運営については常任幹事を中心とした事務局を結成する。

新事務所の円滑な運営実現に向け新たな人員の採用を検討する。

早田重彦(昭41・経)

会則の一部改正について

(役員の在任期間の限度)

第31条 会長、副会長については通算在任期間を設定し、その年数を4年とする。その他役員については、通算在任期間を設けない。

以下の通り改正する。

(役員の在任期間の限度)

第31条 会長、副会長については通算在任期間を設定し、その年数を4年とする。但し、会の運営上支障をきたすと判断した場合に更に1期の再任を妨げるものではない。その他役員については、通算在任期間を設けない

(改正の趣旨)

会長、副会長が同時に、総入れ替えとなった場合、会の運営上支障をきたす場合もあり、通算在任期間に弾力的項目が必要と思われる。

同志社校友会東京オフィス開設!

同志社大学東京オフィスが京橋イーストビルに3月に引っ越しを行いました。これまでの約2倍の広さ、100名に対応できる会議室やラウンジ機能を備えています。

この機会に、フロアの一部に「同志社校友会東京オフィス」が設置されました。首都圏での校友会活動の活性化や大学の情報発信強化に校友会が貢献していくことが求められています。

安永昌代(昭56・経)



同志社大学東京オフィスのラウンジ

IC・電子部品の調達から技術まで一括サポート致します!

明光電子一社で全ての部品がそろい、技術サポート、製造、検査までのプロセスを「早く」「広く」「深く」をキーワードに実践できる、電子の統合サービスが明光電子の強みです。

早いレスポンス — 「情報」と「モノ」を素早く正確に提供
広いネットワーク — 業界に広く通じているから何でも揃う
深いサポート — 確かな信頼があるからこそできる協力体制

早く
EARLY

広く
BROAD

深く
DEEP

明光電子 株式会社

神奈川県横浜市港北区新横浜 3-18-9 新横浜ICビル
FAX: 045-471-2377
E-mail: info@meicodenshi.com

☎ 045-471-2223

明光電子 |

検索

代表取締役 十川 正明
(昭和48年 機械工学科卒業 合気道部)

2つの新島先生碑前祭レポート

終焉の地碑前祭に参加して(神奈川県中郡大磯町大磯)

当日は一点の雲もなく快晴
無風の中、同志社を愛する方々
を包み込むように、新島先生の
魂が何処からともなく降りて
きたような日だった。

そして一本の梅ノ木に白梅
が開花しまさしく花を添えて
いるようだった。

参加者の平均年齢は70有余
歳か? 寄稿者の小職(60歳)は
ひよこ同然、若人の参加を呼
び興したい。



べられた総長の挨拶に大丈夫
魂を感じずにいらなかった。

新島襄先生が終焉に臨んで

詠まれた和歌を紹介する。

「寒梅詩」 新島 襄

庭上 一寒梅

笑侵風雪開

不爭又不力

自占百花魁

昨年NHK大河ドラマ
"八重の桜"が放映され、同志
社の事、新島先生の事が想像
以上に紹介され、全国の方々
が同志社の事を改めてより深
く認識されたと同時に我々も
多くの事を知る事が出来た。
そんな意味で今年の碑前祭は
意味深いものとなった。

新島先生臨終の場面では、
涙を禁じえなかつたと大谷総
長も述べられたが、校友の皆
様も同感だったと思う。

更に世界に羽ばたく同志社
として努力していく所存と述

中にも咲く梅は、笑っているか
のように風雪をものともせず
開いている。争つて無理に一
番咲きを競つて努力したもの
でなく、自然に多くの花の魁
となる位置を占めている」

苦節試練に耐えながらも争
わず、無理をせず終始ゆとり
を持ち自然体で臨んだ新島先
生の体験実感を詠んだ詩と思
われる。

「送歳詩」 新島 襄

送歳 休悲病羸身

鶏鳴 早已報佳辰

劣才 縦之済民策

尚抱 壯凶迎此春

「歳をとつて病気の身に

なつてしまったことを悲しむ

ことはない。鶏が私に早く良

くなる日が来るように鳴いて

いる。力なく民を救うことが

出来ないが、まだ大きな夢を

抱いてこの春を迎えよう」

夢と行動に懸け偉業を積み

重ねようとしていたが、病に

たおれてもそれを跳ね飛ばし

たい、そして不屈の精神で夢

を実現したいと願つた心境が

うかがえる。

港 章 (昭50・工)

新島先生・生誕之地
碑前祭に参加して

恒例となつております新島

先生生誕之地 碑前祭が、学校

法人同志社の主催にて、去る

2月12日(旧暦1月14日)午前

11時、寒風吹き荒ぶ中、神田一



をお願いしては
どうか、との提案
がなされており
ました。東京校友
会常任幹事会で
検討し、金屋副会
長にも奔走して
頂き、千代田区教
育委員会や神田
錦町三丁目町会
様にもご相談の
結果、碑前祭後の

ツ橋(旧安中藩江戸屋敷跡)に
ある「新島襄先生生誕之地」碑
前において、学校関係者・東京
校友会校友など総勢56名が臨
席して、厳かに執り行われま
した。

学校法人同志社法人事務部
長の北幸史氏の司会のもと、
全員で讚美歌312番を斉唱
し、村田大学長・児玉東京校友
会会長のご挨拶に続き、両氏
が碑前に献花をして、創立者
の遺徳を偲びました。

昨年2月に開催されました
東京校友会定時総会において、
評議員の一人から新島先
生・生誕之地碑前祭を、全国の
他碑前祭のように、もっと教
育界や地域の方々にもご参加

午餐会に、旧・錦華小学校の第
102回卒業生であり、神田
錦町三丁目町会長の前田智彦
氏にご臨席いただくことが出
来ました。

前田様によりますと、新島先
生のお話は子供の頃からよく
聞かされて育つたとのこと、
当時から錦町界隈では、新島襄
のことを町の方々がよく知っ
ておられた様子が伺えました。

(因みに碑の建立は昭和40年)
前田様は武蔵野書院という
出版社を経営されており、同
志社大学の先生方とも本の出
版のことで深い繋がりがある
とのこと、不思議なご縁を
感じた一日でもありました。

我妻誠(昭40・文)

「2014同志社東京・春の集い」が開催されます あなたがいなくちゃ始まらない!

「春の集い」も今年で16回目を迎えます。今年のテーマは、「同志社グローバルイズム」一国の「良心」、世界の「RYOS HIN」とさせて頂きました。同志社大学は、文部科学省が「大学国際化のためのネットワーク形成推進事業の十三大」に選ばれ、同事業の取り組み状況中間評価では唯一、最高ランク「S」と評価されました。母校の国際化に向けた展開やグローバル社会で活躍する人材教育に「良心教育」をもって取り組んだことが評価されたものと誇りに思っております。



▲▼ 2013年度 春の集いの様子



第二部の講演では、国際政治のコメンテーターとしても著名な村田学長より「同志社国際化の取り組みと展望」についての特別講演。そして、アテネ・北京オリンピックにおいて野球日本代表・WBC日本代表選手として国際舞台でも活躍し、名球会会員でもある元ヤクルトスワローズの宮本慎也氏を迎えての「トークショー」を企画しました。

「春の集い」では、同志社精神の発揚の喜びを皆様と分かち合いたいと考えています。校友会の皆様におかれましては、年次会、クラブ、ゼミの友

人お誘い合わせの上、ご参加の程お願い申し上げます。

【日時】

2014年5月25日(日)
13時(開場12時)～17時30分

【場所】

ロイヤルパークホテル
東京都中央区日本橋牡蠣殻町
2-1-1
☎03-3667-1111

東京メトロ半蔵門線・水天宮
駅前四番出口直結

プログラム

◇第一部 式典
カレッジソング

開会祈禱

讚美歌斉唱

開会宣言

会長挨拶

来賓挨拶

・学校法人同志社 大谷総長

・同志社校友会 井上会長

同志社大学歌

◇第二部 講演会

【特別講演】

同志社大学/村田学長
「トークショー」

元ヤクルトスワローズ/
宮本慎也氏(平5・商卒)

◇第三部 懇親・交流会

同志社大学応援団現役学生による演舞

*詳細は別途「春の集い」

案内状、または、東京校友会ホームページ
<http://doshisha-tokyo-alumni.jp>

でご確認願います。

平成24、25、26年ご卒業の皆様さまへ

「春の集い」には例年500名強の校友に参加頂いておりますが、残念ながら平成年度の卒業生のご参加が少ないのが実態です。

今年度の「春の集い」では、この三年間にご卒業の皆様さまに、特別対応(参加費を半額4千円にて)させて頂くことになりました。

ご友人お誘いの上、一人でも多くの皆様のご参加、お待ちしております。

大島耕而(昭45・法)

DHC

通販化粧品・健康食品売上 **No.1**^{*1}

確かな効果、肌へのやさしさを実現しながら生み出される化粧品。人気の薬用Qシリーズは、薬用化粧品として日本初、コエンザイムQ10を0.3%という濃度で配合。DHCは美しさの可能性を追求し続けます。



1000万個突破^{*2}の薬用Qから登場!

史上最高オールインワンジェル^{*3}

*1 2013年1月1日 日本流通産業新聞 通販・通販EC売上高ランキング
*2 2010年1月14日～2013年5月31日までの薬用Qシリーズ全品
クリーム売上総数 *3 DHC史上

<http://www.dhc.co.jp>

株式会社DHC
〒106-8571 東京都港区南麻布2-7-1 代表取締役会長兼CEO 吉田嘉明(昭和40年 文学部英文科卒)

連続企画 片桐家同志社五代記(九)

東華学校の開校を期に創立された宮城基督教会であったが、清治着任当時は礼拝出席者も十名前後と、一番低迷していた時代と言える。

創立後十年間に牧師、三人の伝道士が交代するという落ち着かない状態だったが、二代目の牧師として迎え入れられた清治に課せられた使命また期待は、大きなものであった事だろう。

教会史によると、着任した年の受洗者が五名、礼拝出席者二十五名前後、会計月額二十六円(内ミッジョン・ボードよりの援助金十二円)と有り、取り敢えずは息を吹き返したと思われる。

九月二三日、延期していた創立一〇周年記念式典を挙行、この日会堂に初めて八個の電灯がつけられ、教員はそのまばゆさに驚いたようだ。

清治の三男弘も後年の教会の役員を務めたが、一九三〇(昭和五)年前後に執筆した「宮城基督教会歴史顛末」に当時の様子を次のように記している。

「此十年の事を追懐すれば、一進一退牧者の更迭四人会員の出入常なく、時には非常の困難に遭遇せしと雖ども大能の御手は常に変わらず、我教会の上にも加はり、今日あるを得たりしは、誠に感謝に耐へざる也」

ただ、その後一九〇五(明治三八)年迄資料が残っており、欠落している。

一九〇六(明治三九)年一月二八日、教会独立発表会を行い、功労者であったデフォレスト氏と、ミス・ブラッドショーにこれ迄の労をねぎらう記念品を贈呈している。

そして、教会の名称を仙台教会と呼称する事になった。教会独立と言うのは、それ迄のミッジョン・ボード(日本伝道会社)からの経済的援助を受けずに、日本人の力によって教会を維持して行く事である

が、清治着任年に提案されたものが漸く実現された。

一九〇七(明治四〇)年一月、執事会はデフォレスト宅で教会堂新築の件に着いて協議する。その内容は、三カ年で一五〇〇〇円を募集する事になったのだが、実績は芳しいものではなかった。

その頃の牧師への謝儀は、三五円で、それさえ時々遅延があったと言われており、教会の会計もなかなか厳しかったようだ。

そのような中、一九二二(明治四四)年五月病氣加療中であったデフォレスト氏が東京聖路加病院で逝去する。教会員にとって大きな悲しみであったが、氏の永年の功績に報いるため、「デフォレスト記念会堂」を建築する事になり、教会堂新築計画を切り替える事になった。

片桐陽(昭42・工)



片桐清治・亀代 金婚式

連載コラム 今出川四季

明治十年代半ば、校祖新島襄は勝海舟に会って、大学設立への助力を求めた時、勝から「それであなたの理想が実現するのにどれくらいの時間を要するのか」と尋ねられた。襄はためらいなく「二百年はかかるでしょう」と答えている。

同志社英学校が開校したのは一八七五(明治八)年、従って二百年は二〇七五年である。今から六十一年先だ。同志社はどのような教育機関に成長しているだろうか。それはひとえに私たち校友が校祖の精神や哲学をいかに歴史に刻んだかにかかっている。

そこで私は、同志社に学んだ一年をレンガ一個にたとえてみる。大学に四年在学したのなら四個、付属高校、大学なら七個といった具合だ。私自身、四個のレンガを二百年のうち八十四年から八十八年迄の間に積んだ。大学院を含めて九年間、同志社で学んだ友人がいるが、彼は九個のレンガをその在学期間に積み重ねたことになる。

二百年を経ると、二百階建てのレンガ積みの新島精神ビルができあがる。この建て物が日本だけではなく、国際社会で相応の評価を受けることを私は期待しているのだが、そのときに八十四階から八十八階あたりは他の階と比べると少々脆い、ここから崩れなければいいが、などと決断して言われたくない。同志社の歴史を確かめると、一階、二階、三階・・・つまり基礎になる開校時の階は多くの有能な士が強固なレンガを積んでしっかりと固めている。

私たちはそのことに誇りを持つが、それゆえに自分たちが積んだレンガもまた後輩に強いか否かの審判を仰ぐことになる。自分は同志社の校友の一人に過ぎないが、そういう歴史的事業に参加しているのだと自覚したとき、校祖の言の重さに胸がふるえる。自分その心理を「同志社精神」というのであろう。

保阪正康(昭38・文)

まさにグローバルな人材

名刺交換をしただけで、あるいは15秒言葉をかわしただけで、旬の人、というのはいくつもの人のことをいうのだろうな、と感じさせてくれる。

とにかく、ノリがいい。オーラは言い過ぎになるけれど、常に何か発信してくるものがあり、それを相手に感じさせる。



環境省の執務室で。ここでの仕事のほか、ビジネス世界での交渉事も引き受けている

校 友 訪 問

島田久仁彦さん
国際ネゴシエーター
環境省参与
平成10年・法学部卒

この人の話なら聞いてみようか、とか、この人に頼まると何か協力したくなるし、自分にできることがあると言ってくれ、と口に出したくなる。

霞が関、環境省内の執務室での「校友訪問」インタビューだが、島田久仁彦さんのことを紹介しようとする、経歴よりも何よりも、冒頭のような書き方をしたくなる、というのも島田さんの魅力だろうか。

とはいえ、世界的な活躍を続ける島田さんのキャリアはきちんと伝えたい。しかし、それには紙数が足りない。この「同志社東京ジャーナル」の前身の書評欄で取り上げた島田さんの著者「交渉プロフェッショナル 国際調停の修羅場から」(NHK出版新書)掲載のプロフィールをざっくりとご紹介。

「1975年大阪府生まれ。国際ネゴシエーター。1998年より国際紛争調停官としてソボなど世界各地の紛争解決に尽力。2005〜10年まで日本政府代表団の一員として環境交渉に貢献。交渉のプロフェッショナルとして国内外の政府や企業のアドバイザーを務める」。

ということだが、このグローバルな人材を役所が手放すわけもなく、実は現在も島田さんは環境省参与、気候変動に関する国際交渉の日本側の首席交渉官を務めている。弱冠39歳で次官、局長級のポスト。著書のキャッチではないが、まさに「世界が認めた日本人」である。

「でも、実家は松原市、ここでこの大阪ローカルです(笑)。そこから一時間半かけて、6年間、中学、高校と同志社香里に通いました。ただ父がエールフランスの広報の仕事をしてましたし、家の近所にアメリカ人牧師がいて親しくしていましたから、いわゆる「国際感覚」的な環境の中で育ったとはいえるでしょうね」

実際に国際的なテーマに興味を持ったのは17歳の時。「ちょうど、その頃、理科の授業で酸性雨が取り上げられたんです。これは世界的な課題として取り組まなければならない大問題だ、ということで気象関係の国際的なテーマに興味を持ち始めました。それと同時に、外国語を身につけたい、という思いも強くなったんですね。また、もともと人とはちよつと違うことをしたいという気持ちを持っていましたし(笑)、

加えて同志社の自由な校風でしょう。それらが融合されて現在への道が見えはじめたのだと思います」

外国語修得の強い意志は、国際機関で活躍する先輩たちを見て「かっこいい」と思ったことから。そういうシンプルな「野心」が、もつとも意志を支えてくれるもの、と言う。そうして島田少年は「国際語」である英語とフランス語の修得に励み、自分の将来像を「海外でプロフェッショナルな仕事をする」と定めていった。

「そうした中、具体的には国連の仕事にあこがれるようになり、あの水色のエンブレムを見て非常に興奮しました。いわば、国連オタク、ですね(笑)」

そうして同志社大学法学部に進み、京都国際会議場の国際会議の運営アシスタントなどをしていくときに、大チャンスに巡り合う。いわゆる「京都議定書」で有名なCOP3/京都会議。これは、気候変動枠組条約締結に関する国際会議で、このテーマが島田さんのその後の仕事の主要テーマになるのだから、京都会議は運命的な出来ごとだったといえるだろう。さらに、それは国連の仕事に携わる契機ともなった。

「環境問題は戦争と同じく、解決困難な問題です。現実には国際的な軍事紛争調停や環境交渉に関わるようになって、人間が引き起こす問題は人間の心のありようが変わらなければ終わらないと実感するようになりました。そのためにも、教育の課題は非常に大きいですね」

日本人は、「国際」とか「グローバル」などといわれるとすぐに「英語が云々」となりがちで、現在も英語早期教育が文科省指導が始まるうとされている。

この件について、島田さんはこういうアドバイスをくれた。

「やはり、母国語がきちんとでき、自分の背景にある文化を理解できるようにするのが先決。外国語の修得は、それからでも遅くはありません。僕もそうでしたから、国際的な仕事すればするほど、そう思いますよ」

谷村和典(昭47・文)



島田久仁彦著
「最強交渉人のNOをかならずYESに変える技術」(かんき出版)

第1回同志社校友会大懇親会が盛大に開催されました！

同志社校友会本部主催の

「第1回同志社校友会大懇親会」が去る2月15日土曜日、関東地方が大雪に見舞われた日に、国立京都国際会館で盛大に開催された。当日は全国的に悪天候、京都は大雨の中、2,000名もの参加者で盛大に挙行された。

司会は、同志社出身パーソナリティの浜村淳さんと毎日放送アナウンサー西村麻子さんが務められ、まず、井上礼之同志社校友会会長の開会宣言からスタートした。



熱い議論が交わされたパネルディスカッション。スクリーンの映像は井上会長

第1部基調講演

同志社大学村田晃嗣学長が「グローバル時代、同志社大学がめざすもの」をテーマに話され、その中で東京関連としては、「八重の桜」効果で今年の受験生が3.1%増加（東京は20%増加）した、また、東京を中心とした首都圏で発信力を強化したい、新東京オフィスをそのための拠点であると語られた。

第2部パネルディスカッションでは「みんなで考えよう 同志社ブランドの向上と戦略」と題し、ダイキン工業(株)会長の井上礼之校友会会長、がんこフードサービス(株)会長の小嶋淳司校友会副会長、セコム(株)相談役の木村昌平校友会副会長、さらに村田学長を加えたパネラー、コーディネーターを公認会計士長谷川正治校友会副会長が務められ、約70分に亘る熱い議論が繰り広げられた。木村副会長からは「同志社ブランドの現実」等の資料が



大懇親会参加者2200人で記念写真撮影。壮観でした！

ら意見交換があり、「同志社の実力」では大学教育改革のトップランナーであると評価された。また、井上校友会長からは「組織は変革を重ねないと生き残れない。大学にもそうした危機意識が必要だ。」と強調され、「失敗をおそれず挑戦する人を育成

すべきだ」など同志社のブランドについて意見が交わされた。

第3部大懇親会はイベント会場にて、クロージャーのウエルカムソング、水谷誠同志社理事長の祈禱、井上会長の挨拶、大谷同志社総長、村田学長の祝辞の後、総勢

2,000名以上での記念撮影、加賀裕郎同志社女子大学学長の乾杯で懇親会が開催された。今年度から始まった「同志社校友会奨学金」の奨学生50名の紹介の後、奨学生代表の御礼の言葉、同志社大学フラサークルの華やかなフラダンス、お待ちかねの大抽選会では、空気清浄器やお食事券、パールアクセサリーや、10万円と30万円の旅行券があり、盛り上がった。

また、サプライズゲストとして北京オリンピック銅メダリスト朝原宣治さんが参加。スポーツや同志社をテーマに司会のお二人との掛け合いも盛り上がった。

最後は、同志社大學応援團の素晴らしい演舞の後、中村友一同志社校友会副会長の締めのご挨拶でお開きとなり、それぞれ、次回の2014年11月8日開催予定の第2回大懇親会での再会を約束しながら閉会した。

北濃登美男（昭41・法）

同志社 スポーツ

同早定期野球戦復活!!

戦後久しく途切れていた早稲田大学と同志社大学の定期野球戦が復活し、東伏見の早稲田大学野球部安部グラウンドで3月22日第一戦が開催された。



グラウンド名の安部とは、安部磯雄の名前からである事は、同志社出身者の多くの方の知る所であろう。

安部は、一八六五(元治二年)福岡の黒田藩士の次男として生まれる。小学校を優秀な成績で卒業後、同志社英学校に学んでいた義兄の援助により同志社英学校に入学する。

在学中に新島襄から洗礼を受け一八八四(明治十七年)卒業後神学に進むが、ストライキを起こし、自主退学する。

二年後、福岡県田川郡の香春学校に奉職中に同志社のゴルドン教授の勧めで同志社に復帰、教壇に立つ。

一八八七(明治二〇)年岡山教会の牧師として赴任し、その後ハートフォード神学校に入学、英国に遊学の後、日清戦争勃発を知り、ベルリン大学に入学する。

一八九五(明治二八)年帰国、岡山教会に帰着、牧師のかわらわ市立関西中学校で教師をつとめる。

一八九七(明治三〇)年岡山教会に辞表を提出、同志社中学校に赴任するが、二年後同

志社事件のあおりを受け退職し、同年東京専門学校(現早稲田大学)の講師になる。

一九〇一(明治三四)年安部は東京専門学校の体育部長になるが、同年野球部発会式が行われている。一九〇五(明治三八)年には、安部を団長とする早稲田大学(明治三五年)大に昇格(野球部が渡米している)。

安部の部長時代、同志社を含め多くの大学との定期戦、海外遠征等野球との関わりが深くなって行くが、一九二五(大正一四)年東大がリーグに加盟し、六大学連盟になる。

一九三〇(昭和五年)年安部はこの六大学連盟会長に就任する。二年後六大学連盟会長を辞任する。

昭和十年代後半には、戦時体制が強化され、文部省も野球弾圧を企て、一九四三(昭和一八)年には学徒体育大会等

一切禁止され、六大学連盟に解散命令も出される。これを受け、大学当局も各運動部に解散勧告を行ったが、野球部のみ拒絶する。

一九四七(昭和二二年)安部

は日本学生野球協会会長に就任しているが、その二年後の二月、八三歳で逝去する。

前置きが長くなったが、戦後まで続いていた定期戦が、理由は不明だが途絶えていた。今回早稲田大学校友会京都支部の北村光男会長のご尽力により三十数年振りに同志社との定期戦が復活される事になったのである。

当日は晴天に恵まれ、安部グラウンドで両校の校歌が交わされ試合が始まった。残念ながら四対〇で同志社大学が破れたが、試合後には両校の懇親会も開催され友好の時間が持たれた。また、来年の八月に京都で定期戦が開催される事も決まっているが、この由緒ある定期戦が今後も末永く継続される事を祈念して球場を後にした。

片桐陽(昭42・工)



野球部OBの児玉会長も当日観戦

家族葬から社葬・お別れの会まで、
信頼の葬祭ブランド「公益社」におまかせください。



KOEKISHA

株式会社 公益社 | ネットワーク 東京・横浜・大阪・兵庫・奈良
東証一部上場 | 協賛ホールディングスグループ

まずはお電話を。公益社 葬儀相談センター(24時間・365日受付)

さよならのこころ

☎0120-347-556

http://www.koekisha.co.jp

通話料無料・携帯電話可

首都圏ネットワーク(自社会館・営業所)

◆東京本社(港区南青山1-1-1 新青山ビル西館14F)

会館

- 公益社 用賀会館
- 公益社 高円寺会館
- 公益社 明大前会館
- 公益社 仙川会館
- 公益社 田園調布会館
- 公益社 雪谷会館
- 公益社 高輪会館
- 公益社 社会館 たまプラーザ

営業所

■青山ご葬儀相談室 ■日吉営業所 ■鶴見営業所

※上記を中心に300ヶ所以上の葬儀場がご利用になれます。

対応地域 首都圏(東京・神奈川・千葉・埼玉)
近畿圏(大阪・兵庫・奈良)

はりしままのぶ
協賛ホールディングス株 取締役相談役 播島 幹長 (昭和33年 経済学部卒業)

おがよしのり
公益社 法人営業推進部 部長 小川 佳秀 (昭和50年 経済学部卒業)

商品開発や宣伝に関心ある方に嬉しい企画

元キリンビール副社長による
マーケティング研究会 ご案内

首都圏勤務の校友に「マーケティング」をテーマに勉強や懇親の機会を、と結成した「マーケティング研究会」。次回の概要をご案内します。

【日時】 6月4日(水)
【講演会】 19時～
受付 18時30分
講演会終了後、移動し懇親会
【会場】 同志社大学東京
オフィスセミナー室

【講師】 岩佐英史氏

（元キリンビール副社長 昭和50年法学部卒）現在、明治大学大学院グローバルビジネス研究科講師として「ブランドマーケティング」を「担当」。キリンビールでの営業とマーケティングの経験・知識から実践的なブランド経営戦略を講義されている。同志社大学商学部研究科や他大学でも講演多数。

【講演内容（予定）】

キリンビールにおける新商品開発や広告宣伝の実際を例に、ブランドマーケティングについて講演いただく。

【会費】

講演会・東京校友会会員は無料。準会員は千円
懇親会・実費 約5千円
お申し込み・参加希望者は、メールでお申し込みください。
1875rakushikaipius
@gmail.com

メールには、お名前、卒業年、学部、勤務先名、当日必ず連絡のつくメールアドレスを明記の上お申し込みください。

安永昌代（昭56・経）

編集後記

95号は、今年度の定時総会・評議員会に始まり、新島襄先生の両碑前祭、第一回校友会大懇親会、同早定期野球戦復活などの報告、「春の集い」、校友会事務所新設などの告知で誌面が埋まりました。

また、今号は、事情により、片桐 陽が編集人代行として作業に当たった事を報告させていただきます。

《同志社大学東京オフィス
ご利用のご案内》

これまでは、卒業生団体以外のご利用はできませんでしたが、新オフィスでは、どなたでもご利用いただけるようにいたしました。一般のご利用でもお申し込み者が校友の場合は半額料金でご利用いただけます。仕事でのミーティングやセミナー等にぜひご利用ください。

【設備】

○セミナールーム(スクール形式105名)
○会議室(24名)
【ご利用時間と料金】

平日9時～17時を時間内とし、平日17時～20時、土曜9時～17時は時間外料金を設定。

【料金】

●同志社大学及び法人内諸学校の卒業生の団体のご利用
時間内：無料
時間外：セミナー室6千円/1H
会議室3千円/1H

●一般のご利用
（お申し込みが卒業生の場合は半額。利用可能かどうか、事前に企画部長承認が必要です）
時間内
・セミナー室 2万円/1H
・会議室 1万円/1H
時間外
・セミナー室 3万円/1H
・会議室 1.5万円/1H

【お問合せ】

同志社大学東京オフィス
03-6228-7260

（お詫びと訂正）

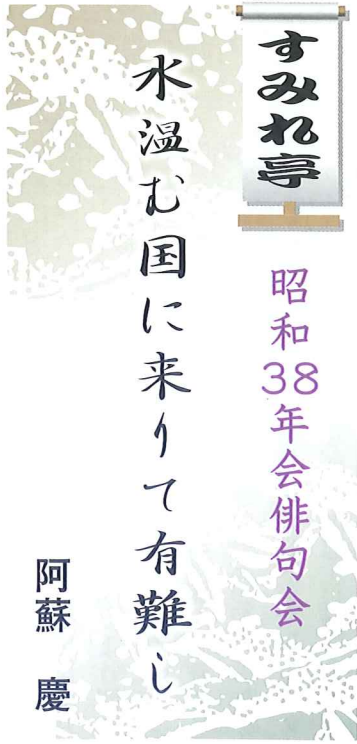
94号掲載の支部会活動報告の記事で「千葉川支部」は「千葉県支部」、また、同志社スポーツ、同志社スポーツユニオン総会の記事で「北澤代表幹事」は「北濃代表幹事」の誤りでした。

その他、今出川四季の記事で「校租新島襄」は「校租新島襄」、編集後記の「文学会」は「文学界」、「利休に訪ねよ」は「利休にたずねよ」、「山本健一原作」は「山本兼一原作」の誤植でした。

関係各位並びに会員各位に、謹んでお詫び申し上げますとともに訂正致します。

今後、このような事のないよう、校正体制を強化し、編集に取り組んでまいります。

（発行人 児玉正之）



水温む国に來りて有難し

阿蘇 慶

「水温む」なる早春の季語もまた先人の豊かな感性に満ちあふれた言葉である。

北国ご出身の作者にとり、春浅い時期に水温む国に出て来られてはじめて、本音を

「有難し」と率直に感謝できるのである。

率直で飾りのない措辞こそが俳句表現の第一の要諦である。

（評・あかぎ倦鳥）

DOSHISHA TOKYO JOURNAL
2014.APR NO.95

同志社東京校友会
〒104-0031
東京都中央区京橋2-7-19
京橋イーストビル3F

電話 03-5579-9728
FAX 03-5579-9729
発行人 児玉正之
編集人 代行 片桐 陽
デザイン デザインスタジオ クリエンス

http://www.doshisha-tokyo.alumni.jp

HP会員ページ
ログイン情報

ID=doshisha
PASS=1875